

大阪市の
4つの施策(イメージ)



大阪市の4つの施策体系と事業内容

① 機能維持

詳しくは11ページへ

大阪市の、明治時代から下水道整備を進めており、老朽化した施設を多く抱えています。施設の老朽化により、道路陥没の発生や下水処理機能の低下などのおそれがあります。

大阪市では、耐震性の向上や維持管理の効率化などを図りつつ、計画的に改築更新を進めています。



老朽化した機械スクリーン設備

② 浸水対策

詳しくは13ページへ

大阪市は、市域の約90%がポンプ排水に頼らなければならない雨に弱い地形となっています。また局地的な大雨や市街化により雨が浸透する地面が舗装化されたため、浸水のリスクは高まっています。このため、概ね10年に1回の大雨(1時間当たり60mm)でも浸水しないことを目標に、下水道幹線やポンプ施設の建設などの抜本的な施策や地域特性に応じた局地的な対策を実施しています。



平成25年8月25日の浸水状況(大阪市北区)

③ 地震対策

詳しくは15ページへ

下水道は、水道・電気・ガスと同じく市民生活を支えるライフラインのひとつであり、重要な都市基盤です。そのため、南海トラフ巨大地震をはじめとする地震動が発生した場合もその機能を保持する必要があります。

このため、下水処理場など建物の耐震性調査に基づく補強や地震時に道路陥没を引き起こすような大きな損傷を生じるおそれのある管きよの布設替えや管更生を行い、管きよの耐震化を実施します。



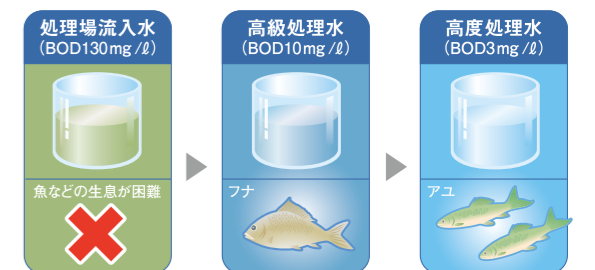
マンホールトイレの設置訓練

④ 都市環境対策

詳しくは16ページへ

下水道は汚れた水を浄化して、海や川の水質を保全し、自然環境を守る重要な役割を担っています。

大阪市の下水道は、ほぼ全市域に普及しており、下水道が急速に普及した昭和45年頃から、市内の河川水質は、大幅によくなっています。より清らかな水環境の創出をめざして、大阪市では合流式下水道の改善や高度処理の建設を進めています。



下水処理水のめやす

「未来への責務を果たす下水道」

将来にわたり市民のみなさまが下水道サービスを受用できるよう、下水道管理者の責務を果たし、未来へバトンをつなぎます。

- 下水道管理者の責務** 公衆衛生の確保、浸水防除、水質保全、循環型社会への貢献
- バトン** 下水道事業の運営

VISIONを達成するため、

- ① 機能維持
- ② 浸水対策
- ③ 地震対策
- ④ 都市環境保全

の4つの施策を経営健全化の視点を持ちつつ、着実に実施する

- ① **機能維持**：施設を良好に維持し、機能を適正に確保する取り組み
- ② **浸水対策**：まちの浸水に対する安全度を向上させる取り組み
- ③ **地震対策**：地震や津波等の自然災害による被害を抑制する取り組み
- ④ **都市環境保全**：清らかな水環境の保全に寄与し、都市の環境や魅力を守る取り組み

SUPPORT —サポート—

- ① **技術開発**：下水道事業の効率化や高度化にむけた技術開発を推進する
- ② **情報発信**：市民のみなさまと情報を共有・連携して、円滑な事業運営を推進する
- ③ **人材育成・組織強化**：人材育成と技術継承による組織力強化を推進する